

テーマ：体外診断用医薬品開発の実際

2024年2月6日(火) 18:00-19:00



要登録・オンライン・参加無料 [登録サイトはこちら](#)

セミナー内容

臨床検査に用いられる体外診断用医薬品は、治療用医薬品や医療機器とは異なる特徴を有しており、開発を円滑に進めていくにあたっては、その特性や規制を踏まえた戦略を立てていく必要があります。

本セミナーでは、体外診断用薬品に関する以下の事項について、実際の事例に基づき解説します。

<主なトピック>

- ✓ 体外診断用医薬品開発の流れ
- ✓ PMDA対応のポイント
- ✓ 厚生労働省対応のポイント
- ✓ コンパニオン診断薬開発
- ✓ 体外診断薬企業が大学等へ期待していること

医薬品開発を始めようとしている、または既に開発を進めている先生方、そして開発の支援に携わっている方々のご参加をお待ちしております。

講師紹介

松岡 修 先生

株式会社医学生物学研究所
営業本部副本部長 兼 遺伝子事業推進部長



2007年に株式会社医学生物学研究所に入社。体外診断用医薬品の薬事、臨床開発、開発企画などの業務に従事。現在は同社の営業本部副本部長兼遺伝子事業推進部長として、主に新規の遺伝子検査試薬開発の企画立案やマーケティング業務を担当。体外診断用薬品の業界団体である一般社団法人日本臨床検査薬協会では、医療保険委員会の副委員長としても活動している。

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、臨床研究・治験に関わる研究者および研究支援者の育成を目的に、各種の教育研修プログラムを実施しております。この『橋渡し研究プログラム 教育セミナー』は、研究シーズ実用化に向けた開発イメージ構築のお手伝いを主眼とし、実践的側面と土台となる理論的側面をバランス良く配して経験豊富な講師陣によりわかりやすいセミナーを提供していきます。

お問合せ先：慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門

TEL 03-5363-3474 (内線 63744) mail: apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp